

2022年(令和4年)

7月15日発行

発行者：県立加茂高等学校 PTA

編集：広報部

\* 定時制のコーナーは4ページです。



QRコードから加茂高のホームページを閲覧できます。



入学式



入学式



1年担任紹介



情報モラル研修



生徒会清掃活動



新体力テスト



読書週間



体育大会結団式



薬物乱用防止講話

## 加茂高春秋

## 「普通の生活」

最近になつてコロナが落ち着いてきたのか私達が慣れてしまつたのか、生活が少しづつ元に戻りつつあるような感じがします。以前だつたら学校のお昼休みには友達と一緒にワイワイお弁当を食べたり、社会見学でみんなバスに乗つて出かけたり、修学旅行で宿泊研修したり、部活の合宿があつたり、とまあ色々なことが普通に出来たのに、今となつては夢のような出来事です。

当然のことと楽しみにしていたことが当然のようにできなくなつてしまふ。学校生活だけではなく日常生活がもう以前とは違つてきました。マスクをする生活もすっかり身についてしまいました。今やマスクをしないで出かけるのに抵抗があるという人も大勢いるそうです。

何が普通なのか？日々変化する日常を受け入れ、その中でも楽しい事を見つけて生活していく子供達を見ていると、以前はこうだったとかばかり言つてないで、私達も今出来る事で楽しくなるよう生活していくかんくては、と思います。毎日を健康で楽しく過ごせるよう、そんな普通の生活が送れるよう、精一杯バックアップブしましようか。

## PTA役員紹介

会長 長尾陽一郎  
副会長 萩島 豊  
会計 山本 洋恵  
副会長 大崎 知美  
副会長 千葉 江梨  
役員選考委員長 富田 勝也

1年学年委員長 大山 真樹  
研修部長 大前ひとみ  
2年学年委員長 大石 智美  
3年学年委員長 広報部長 石原 久子  
進路学習部長 渡邊奈美子

コロナ禍により、部活動や行事など様々な活動が制限されました。これらの活動は集団で力を合わせて目標に向けて取り組み達成感を得る等、人との関わりの中で多くの経験をすることで、自己有用感を育む大切な機会となっていました。

この自己有用感とは、文部科学省管轄の国立政策研究所による「社会性の基礎となる部分」とされています。即ち、人の役に立った、感謝された、認められた、といった他者からの評価のことです。

一方、同じような言葉で自己肯定感とは自己の価値や存在意義等、自分に対する評価になります。自己肯定感の高い人は、精神的に安定し、突然のトラブルや壁にぶつかっても、自分なら大丈夫と前向きに乗り越えることができるそうです。

日本人は、協調性が高いため、他人から評価である自己有用感を育むことで、自己肯定感が高まるといわれています。

子どもを褒めて伸ばす、という言葉の本質はここにあるのではないのでしょうか。私たち親としても、子どもが頑張る姿勢に対して大人の基準でなく、子どもの目線で褒めて認めることが大切だと思います。



## 「自己有用感」

PTA会長 長尾 陽一郎



## スクール・ポリシー

校長 井藤 勝夫

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

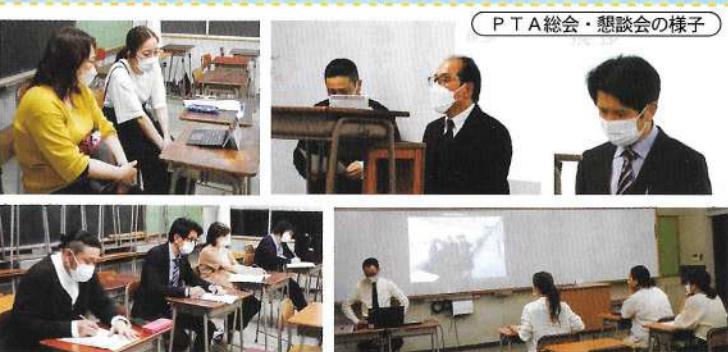
新型コロナウイルス感染症は未だ収束せず、昨年度もいくつかの行事が中止や縮小を余儀なくされました。が、工夫しながら行つた活動が生徒の主体性を引き出したり、進路実現に結びついたりした例も多くありました。加茂高の伝統を消すまいと『つなぐ』のスローガンのもと二年ぶりに行つた文化祭では、先輩の熱き思いが後輩に伝わり、伝統が見事に引き継がれました。それは高校時代の掛け替えのない思い出となつたことでしょう。他と協働し苦労しながら創り上げたこの貴重な経験は、気持ちを切り替えて自らの進路実現に邁進した三年生にとって大きな力となり、素晴らしい結果をもたらしました。

今年度は、新学習指導要領の実施や成人年齢の十八歳への引き下げなど、新しく始まることが多くあります。ですが、その中の一つに、スクール・ポリシーの策定があります。スクール・ポリシーとは、学校の入口から出口までの教育活動の指針を示すもので、グラデューシヨン・ポリシー（育てたい生徒像）、カリキュラム・アドミッション・ポリシー（どんな

生徒を待っているか）の三つの方針から成ります。

本校のグラデュエーション・ポリシーは、①自分の個性や適性に応じた目標を定め、最後まで粘り強く挑戦できる生徒、②様々な課題を発見し、他者と協力しながら主体的に課題解決に向け取り組める生徒、③人と繋がる力を養い、多様な価値観を理解して、将来地域社会でリーダーとして活躍できる生徒の三点です。このような生徒を育てるため授業の充実と地域と協働した課題解決学習、コミュニケーション能力や社会性を養うための様々な学校行事や部活動等の活動を推進してまいります。本校のスクール・ポリシーの詳細については本校ホームページをご覧ください。

これらのポリシーは、「文武両道の校風を生かして、高い学力、健康でたくましい心身、豊かな人間性を備え、自立した生徒を育成する」という本校の教育目標の理念を踏まえています。コロナ禍も三年目となりますが、感染防止に十分留意しながら、生徒の健全な成長と進路実現のため全力で努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



PTA総会・懇談会の様子

## PTA総会開催

4月27日（水）19時より、本校においてPTA総会がオンラインで代替開催されました。PTA会長・校長の挨拶に始まり、令和3年度の事業報告・決算報告、令和4年度の事業計画案・予算案の議案を提出しました。

PTA総会終了後、各学年が3ヶ所の会場に分かれ、オンライン懇談会を実施し、終了しました。

その後、議案の承認に関するアンケートを実施しました。回答者数576名（会員数747名）の回答があり、議案を「承認します」576名、「承認しません」0名で議案は承認されました。

## ● 担任学年主任等紹介

前列：正担任 後列：副担任 ◎：学年主任



青井ゆり子	隆旗一成	各務文弓	座馬美都志	平野弘	武田咲子	石井清治
家庭	美術	数学	保体	英語	数学	7組
数学 有宏 1組	国語 大橋亜由子 2組	理科 地公 3組	国語 上野智子 4組	英語 武藤ののか 5組	保体 中村篤弘 6組	地公
柴田佳祐	○上野智子	細井祐花	○上野智子	中村篤弘	石井清治	7組



荒井悠稀	三田村広隆	伊佐治正浩	伊藤勢子	杉山典孝	古田丈博	天地地公
数学	国語	英語	英語	保体	保体	
木澤慶和 1組	堀部仁貴 2組	河村美都紀 3組	○津田健介	井上悟郎 4組	吉村将成 5組	横山友香 6組
理科	国語	数学	理科	地公	地公	数学



西尾博貴	木村京子	山中徹也	伊藤敏子	渡辺昌文	山本僚郎	天池光広
保体	英語	国語	数学	数学	理科	
佐藤優介 1組	高木正志 3組	○水口智人	安藤理絵 4組	後藤あやみ 5組	柘植未来 6組	鳥居淳 7組
地公	数学	理科	国語	英語	保体	地公



小島知己	大坪美千代	野村美和	安江清美	小椋暁子	北村友紀子	村上明日香	金子寿
理科助手	事務長補佐	養護教諭	理科助手	Sonja-Babylon ALT	司書	主事	主査
酒井宏昌	田内俊文	教頭・地公	井藤勝夫	小林竜二郎	伊藤強	吉川敏幸	山中徹也
教頭・地公	教頭・数学	校長	事務部長	理科	進務部長・国語	業務専門職	小島治郎

入学して早3ヶ月がたちました。学校生活に慣れ、学習や部活動、学校の様々な活動に励んでいます。

5月には本年度はインターハイ予選が無事に開催され先輩方の姿に大きく刺激を受けたようです。6月には校外研修があり、自ら決めたテーマに従って、高山の街を散策し見ることができました。また3年ぶりの体育祭も開催されました。

こうしてみると、制限がある中ではあります  
が、コロナ前のように行事が行えるようになりました。生徒自身が、制限がある中でどういった行動を取っていくのか、それを考え実行に移すことが成長につながると考えております。1年生学年団は一丸となってその成長をサポートしていきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

入学して早3ヶ月がたちました。学校生活に慣れ、学習や部活動、学校の様々な活動に励んでいます。

5月には本年度はインターハイ予選が無事に開催され先輩方の姿に大きく刺激を受けたようです。6月には校外研修があり、自ら決めたテーマに従って、高山の街を散策し見ることができました。また3年ぶりの体育祭も開催されました。

こうしてみると、制限がある中ではあります  
が、コロナ前のように行事が行えるようになりました。生徒自身が、制限がある中でどういった行動を取っていくのか、それを考え実行に移すことが成長につながると考えております。1年生学年団は一丸となってその成長をサポートしていきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

### スローガン 自己実現

## 1年生学年団

### スローガン 漸進

## 2年生学年団

### スローガン セルフプロデュースによる夢の実現

## 3年生学年団

入学から早一年が過ぎました。新型コロナウイルスとの格闘を始めてから二年がたち、以前の日常が戻りつつあります。生徒は学習に、部活動に、そして行事にと各々が各活動に懸命に取り組んでいます。すでに大学に関しての調べ学習をスタートさせ、進路に関して考える機会も今年度は沢山用意されています。ぜひ、今年一年保護者の皆様も、お子様とじつり進路について、大学について話し合ってみてください。今年一年よろしくお願ひいたします。

高校最後の一年が、スタートしました。この学年は、入学と同時にコロナによる休校が始まっています。しかし、その経験は、生徒一人ひとりを強く成長させたと確信しています。今年は、その集大成です。夢の実現に向けて、どれだけ努力できるかが勝負です。それから立ち向かい、最後に、笑顔で高校生活を終えられることを期待しています。学年一同、保護者の皆様と一緒にお子さまをサポートしていきます。今年一年、よろしくお願ひいたします。

## 事務・担任以外

## 部活動顧問一覧

部名	顧問名	部名	顧問名
陸上競技	杉山吉川	ボート	古田丈・山本横山・酒井
剣道	柘植水口	ソフトボール	〔赤塚〕天池治・伊藤勢
弓道	井上野村	吹奏楽	堀部細井・青井・角堀
野球	佐藤吉村・中村	美術	降旗・山中
卓球	各務安江	文芸・新聞	渡辺・小椋・(平野)
バスケットボール	西尾武藤	演劇	鳥居・三田村・(山内)
バレーボール	高木大橋	書道	安藤平野・(鈴木)
サッカー	小島上野	自然科學	木澤(水口)
テニス	座馬荒井(武田)	パソコン	(石井)
		囲碁・将棋	伊佐治
		コーラス	後藤伊藤敏(武藤)
		茶華道同好会	木村(櫻井)

( ) : 講師

こちらは定時制のコーナーです。

## 希望は静かに燃えて

副校長 大島 達史

夕方5時を過ぎると、わかれに定時制職員室前廊下の賑わいが増します。登校していく生徒たちの表情は明るく、どんな会話をしているかはわかりませんが、外國語が飛び交います。入口付近に立つ私に「ここにちは」とあいさつをして通り過ぎ、担任との健康チェックを済ませ、「今日もお疲れさま、あと少し頑張れ!」と声を掛ける間もなく階段を駆け上がります。こうして、加茂高定期制、4時間ほどの日課が始まります。

5時30分、始業を告げるチャイムが鳴ります。時々階段を上がつて教室の鳴ります。時々階段を上がつて教室の

5時30分、始業を告げるチャイムが鳴ります。時々階段を上がつて教室の

5時30分、始業を告げるチャイムが鳴ります。時々階段を上がり

られる毎日です。

8時40分、4時間目が終わります。

今は部活動です。毎日、光量の少ないナイター設備の下でサッカー部が、

体育館ではバスケット部、バドミントン部が活動しています。週に一度は

バドミントン同好会も活動をします。

今年度は、熱心な練習の成果をいかん

なく発揮し、サッカー部、バスケット

部が県定大会を制覇、全国大会出場

を決め、バドミントン部も個人戦で1

名が全国大会に出場、同団体は県大会

を制覇し東海大会に出場します。生徒

の多くが「文武両道」の「三足の草鞋

を履く」どころか、昼間の仕事も含め

「三足」の草鞋を履くかのごとくに頑

張っています。

さて、今年度は外国籍の生徒が75%

を超え、国際色豊かな本校ですが、可

茂地区の多文化共生社会の先取りをし

ているかのようです。ここで学びを

もとに、彼らがこの地域の多文化共生

の橋渡し役として一翼を担ってくれ

うと思います。そして何より、生徒一

人ひとりが自信を持ち、それぞれの夢

を追い、お互いを尊重しあいながら力

強くたくましい若者に育つていってく

れるることを願わざにはいられません。

コロナ禍で、歌う機会に恵まれませ

んが、校歌の一節にある「大いなる希

望」を「静かに燃」やし「ゆたかにま

たなき個性」を育していく姿が実践さ

れていることを語りに思っています。

最後に、保護者や地域の皆さんのもとへ、ご理解とご支援を賜りますようお願い申上げます。



### 進路ガイダンス (6月10日)

各分野の学校・企業の方々にガイダンスをしていく進路意識が高まつたひとときでした。

### 球技大会 (6月17日)

OSボウルにて、夏季球技大会が行われました。一年生にとって初めての球技大会となめられましたが、どの球技大会とも最高のレベル! しかも、どの球技大会とも最高のレベル! が見られ、秋の控える照明祭にかけて、クラスのい機会になつたと思ひます。



バトミントン部



サッカー部



バスケットボール部

### 部活動

#### ● バドミントン部

第67回岐阜県高等学校定期通信制総合体育大会(5月29日)

女子シングルス 第3位 迫田(全国大会出場)

女子ダブルス アセグラード・バラスバス

優勝(全国大会出場) 迫田・アピロン(東海大会出場)

#### ● バスケットボール部

第67回岐阜県高等学校定期通信制総合体育大会(5月29日)

トーナメント戦(一試合) ○3-1-0合同チーム(華陽フロンティア・大垣工業)

優勝(全国大会出場) 清凌

決勝戦 本校 7266-15323 華陽フロンティア(定)

準優勝 アセグラード・バラスバス

優勝(全国大会出場) 迫田・アピロン(東海大会出場)

#### ● サッカー部

第67回岐阜県高等学校定期通信制総合体育大会(5月29日)

二回戦 本校 7266-15323 清凌

優勝(全国大会出場) 華陽フロンティア(定)

準優勝 アセグラード・バラスバス

優勝(全国大会出場) 迫田・アピロン(東海大会出場)



# 目標実現に繋がる進路指導に向けて

進路指導部長 山中 徹也



廊下学習

進路指導部では学年との連携を強めていきながら進路指導の取り組みを行っています。その取り組みとして本年度、3年生は外部講師を招いての「模擬試験活用講座」や「志望理由書講座」といった進路ガイダンス、平日補習や土曜講座を通して目標実現に向けての具体的な方法について身につける活動を行っています。

2年生は総合的な学習の時間に「学部・学科調べ」を行い、大学をはじめとする学びの内容を具体的に調べることを通して将来を見据えた目標実現のための進路研究を行っています。加えて、美濃加茂市と連携をし、地域の具体的な事例探究を通して自分自身がどう未来を担っていくかについて考える時間も設けています。

1年生は高校生活をスタートするにあたって、本校で行われる様々な活動が目で見られるようになります。

昨年度の3年生も早朝から平日補習で頑張る姿や放課後に職員室前の廊下に設置されている机や自習室で自己課題に取り組む姿、積極的に担当教員の所へと足を運んで入試問題や小論文指導、面接指導を受け、その実現に向けて励んでいます。

今年度の3年生も早朝から平日補習で頑張る姿や放課後に職員室前の廊下に設置されている机や自習室で自己課題に取り組む姿、積極的に担当教員の所へと足を運んで入試問題や小論文指導、面接指導を受け、その実現に向けて励んでいます。

受験は高校生にとって大きな努力と苦労を伴う大事な経験だと考えます。本校には地道な積み重ねを通して自己実現へと結びつける生徒が多くあります。自分の目標を実現する最良の場に向かうために努力を重ねることは、予測不可能な未来に向けて自らができるなどを熟考し、実行する力に必ず繋がります。これからも進路指導部はお子様とはもちろんのこと、保護者の皆様ともコミュニケーションを図っていきながら、目標実現に繋がる進路指導を行っています。



平日補習の様子

分自身の将来への目標発見に繋がっていることを「総合探究ガイダンス」を通してお伝えしました。本校は文武両道を掲げる地域の普通科高校として高い目標を持ち、努力することによって進路選択の幅を広げ、進路実現へと繋げていく生徒の育成を目指しております。そして卒業生達は3年間を通して、自身の将来の目標を見つけ、その実現に向けて励んできました結果が合格へと繋がっています。

この真摯な姿が、国公立大学60名現役合格や、関東や関西、東海地区の難関私立大学への多くの合格者を生む結果となつたと思します。

最後の最後まで自らの目標実現の場に向けて努力を停めない姿がありました。

この真摯な姿が、国公立大学60名現役合格や、関東や関西、東海地区の難関私立大学への多くの合格者を生む結果となつたと思します。



進路ガイダンス

## 編集後記

加茂高だより第157号をお届けします。

昨年度、コロナにより開催を見送った広報委員会ですが、今年は5月に第1回広報委員会で委員同士顔を合わせることが出来ました。

まだまだ気を許すことはできませんが、コロナ禍でも全てを諦めるのではなく、知恵や工夫で何かやれないかと摸索できるようになった気がします。子どもたちの手でひとつでも多くの行事ができるよう願っています。

次号ではその様子を取り材し、皆さんにお届け出来ればと思います。お楽しみに！

(広報部長 石原 久子)

## 2022年度入試現役合格者数

	合格者数
国公立四大	60
私立四大	368
公立短大	13
私立短大	5
医療系専門学校	9
その他の専門学校	20
文科省管轄外学校	3